

宇都宮市立星が丘中学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組 | 取組の具体的な内容 | 取組に関わる調査結果 |
|------------------------|--|--|
| ・自分の考えを進んで表出する生徒の育成 | ・教室にホワイトボードを準備し、意見を練り合う場面や発表の場面で活用することで自分の考えを表出しやすくする。 ・相手の気持ちを尊重する心を育て、意見を言いやすい学級の雰囲気作りに努める。 | 「グループなどでの話合いに自分から進んで参加している。」「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。」の質問に対する肯定的割合が、昨年よりそれぞれ4.3ポイント、4.8ポイント上昇した。 |
| ・ねらいを共有し、目的をもって学ぶ生徒の育成 | ・職員間の日々のOJTを大切にすることや、教科の枠を越えて全職員で授業参観、授業研究を行い、教師間での共通理解や研鑽を積む機会を設ける。 | 「ふだんからふしぎだな、なぜだろうと感じる。」という質問に対する肯定的割合が90.3ポイントと昨年より大きく向上し、目的や意欲をもって学ぼうとする生徒が増えた。 |

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

本年度は新型コロナの感染拡大の影響で、国・県の調査は行われなかった。市の調査においては各教科・領域の正答率は全て市の平均を上回り良好である。しかし、家庭学習において学習時間が不足していたり、計画を立てて学習することができていない生徒も見られるので、習ったことをその日のうちに復習したり、習ったことを何度も繰り返し学習することの指導を行い、さらなる学力向上を目指す。また、授業においては、表現力の向上を目指して取り組んできたが「友達の前で自分の考えや意見を発表すること」についてはまだ課題が見られる。相手の気持ちを尊重する心を育て、自分の意見を発表することに抵抗のない学級の雰囲気作りの醸成に努める。また、職員研修や教科部会などの機会を通してねらいの共有によって生徒の目的意識を高める授業実践への啓発を行っていく。